



学校だより

あいかわ

鈴鹿市立合川小学校

No. 25

令和7年2月14日

8の字なわとびの取組

1月16日から30日まで、8の字なわとびの取組を行ってきました。どの学年も期間中に最高記録を出すために、休み時間や体育の時間に一生懸命練習に取り組んでいました。

取組の最終日には体育館で1年生から6年生までが最高記録更新にチャレンジしました。本番前に円陣を組んで気持ちを高めたり、大きな声で回数を数えたり、どの学年も気合が入っていたと思います。

8の字なわとびは回数も大事ですが、それ以上に取組を通して、子どもたちが同じ目標に向かって粘り強く取り組み、最高記録を目指して頑張る一体感を感じてほしいと思います。それにより、「やりぬく力」や「自己肯定感」、「社会性」などの非認知能力が高まっていきます。どの学年も、仲間と協力して頑張り、つながりが深まる取組になったと思います。



がくねん 学年	ねんせい 1年生	ねんせい 2・3年生	ねんせい 4年生	ねんせい 5年生	ねんせい 6年生
さいこうきろく 最高記録	78	129	160	301	260

能楽囃子体験教室

2月4日（火）に、能楽大倉流小鼓十六世宗家、大倉源次郎さん（人間国宝）と能役者の方に来ていただき、3年生～6年生が能楽囃子の体験を行いました。これは、日本の伝統文化である能の本格的な囃子を児童に体験させることが目的の教室です。

囃子では、楽器のことを「お道具」と言いますが、最初は、笛や小鼓、大鼓、太鼓などの音の違いやそれぞれの役割について説明をしていただきました。その後、能や囃子の実演を見せていただき、その迫力や美しい音色に子どもたちは聴き入っていました。最後は、祝言の謡（うたい）「高砂」を囃子の音色に合わせて全員で謡いました。日頃あまり接することのない日本の伝統文化に触れ、子どもたちにとっては貴重な体験になったと思います。

子どもたちは振り返りで、「能に興味を持ったので、調べてみたいと思いました。」「能は言葉だけじゃなく、かけ声があることを知って驚きました」などの感想を話していました。



児童会あいさつ運動

児童会の1・2月の目標は「きもちよい あいさつをしよう」です。そこで、2月3日～7日までの5日間、玄関前にあいさつ門を設置し、児童会の子が中心となってあいさつ運動を行いました。

また、各学年では目標を決め、あいさつ推進の取組をしています。1日ごとに目標を提示し、意識してできたら、「あいさつの花」に花びらにシールを貼ります。

合川小学校は、日頃からあいさつがきちんとできる子がたくさんいますが、苦手な子もいますので、この機会に、全員が気持ちの良いあいさつができるようになってほしいと思います。



「あいさつの花を咲かせよう」

あ…相手の目を見て

い…いつでも 誰にでも

さ…先に 進んで

つ…続けて



3年生3校交流会

2月7日（金）に合川小、天名小、郡山小の3年生が郡山小学校に集まり、学校再編に向けた3校交流会を行いました。3年生はこれまで、3校合同の社会見学やオンラインでの交流を行っており、お互いに顔見知りになっていますが、郡山小学校の校舎の中に入るのは初めての経験でした。

交流は、5つのグループに分かれ、最初は自己紹介を行い、自分の好きなもの（遊び、食べ物、教科、動物

等）を交流しました。その後は、グループ内で各校の児童が順番に、自分たちの学校の「好きな場所」を紹介しました。体育館や図書室、運動場など、写真を見せながら好きな

理由とその場所の特徴を発表しましたが、どの子も他校の発表を興味深そうに聞いていて、たくさん質問をしていました。郡山小学校への関心も高かったように思います。そして、最後に簡単なゲームをして交流会は終わりました。

子どもたちは最初から緊張した様子もなく、和やかな雰囲気の中で交流していました。休憩時には他の学校の子と話している様子も見られ、交流の回数を重ねるごとにお互いに打ち解けている様子がよくわかりました。



英語まつり

2月10日（水）に、児童会行事で「英語まつり」を行いました。3ヒントクイズや英語カルタなど、英語を使った遊びのコーナーを5つ作り、たてわり班で回ります。

内容は6年生が考え、各コーナーの進行も6年生が行いました。どの「遊びコーナー」も低学年から参加できるようによく考えてあり、遊びの中にきちんと英語に親しむことができる内容が盛り込まれていました。自分たちで考え、休み時間なども活用して準備した6年生は素晴らしいと思います。また、後片付けも手際よく行い、さすが最高学年と感心しました。

どのコーナーも子どもたちは楽しそうに活動しており、英語教育を大切にしている合川小ならではの行事になりました。

